

第6期 新宿区多文化共生まちづくり会議 第1回全体会議 議事概要

日 時 令和4年10月25日（火）10:00～12:00

場 所 B I Z新宿3階 会議室A

出席委員 郭委員、小林委員、毛受委員、ゼヤー委員、チャン委員、楊委員、李（香）委員、江副委員、奥田委員、金（勲）委員、タイン委員、コチュ委員、叔委員、鈴木委員、立川委員、陳委員、ドゥラ委員、原田委員、朴委員、センブ委員、伊藤委員、井上委員、佐々木委員、塚本委員、守重委員、山口委員 26名

欠席委員 長谷部委員、申委員、松田委員、安藤委員、ブサン委員、國谷委員 6名

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 テーマと運営について

事務局から①第6期多文化共生まちづくり会議のテーマと②多文化共生実態調査について説明があった。

① 第6期多文化共生まちづくり会議のテーマ

ア テーマ

「地域における多文化共生意識の醸成について」

イ 背景・理由

第4期提言の項目6及び第5期提言の項目3(1)などで、「多文化共生意識の醸成」に関する提案が出されたが、今までの会議では審議テーマとして設定されていない。また、区の共生施策がより効果を発揮するようにするためには、地域の多文化共生意識を醸成する必要がある。さらに、今期の会議では、令和5年度実施予定の多文化共生実態調査に関する審議を通じて、区の最新の状況を把握することができ、今後の地域における多文化共生意識の醸成について審議する条件が揃っている。

そこで、第6期まちづくり会議のテーマを「地域における多文化共生意識の醸成について」とする。

② 「新宿区多文化共生実態調査」について

ア 検討内容

調査項目に関する意見聴取及び調査結果に基づく課題の検討

イ 背景・理由

新宿区多文化共生まちづくり会議が発足してから10年が経過し多文化共生をめぐる状況を確認し現時点における課題を把握する必要があるとともに、今までに平成19年度、平成27年度と8年間隔で多文化共生実態調査を行っており、前回調査から8年目となる令和5年度に、多文化共生実態調査を予定している。この調査を行うあたり、過去の調査と同様、多文化共生まちづくり会議で調査項目等に

関して審議を行うとともに、今後の施策に反映するために、調査結果をもとにした現在の区の課題について検討を行い、提言を受ける必要がある。

このため、第6期まちづくり会議において、「新宿区多文化共生実態調査」について検討する。

4 委員委嘱

5 新宿区長あいさつ

6 会長副会長の選出

会長に小林委員、副会長に金（勲）委員、伊藤委員が選出された。

7 その他

事務局から第2回会議の日程（令和4年12月7日）について説明があった。

8 閉会